

平成 28 年 3 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社カイオム・バイオサイエンス
代表者名 代表取締役社長 藤原 正明
(コード：4583 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 C F O 兼社長室長 清田 圭一
(TEL. 03-6383-3746)

がん治療用抗体 LIV-2008b のオプションライセンス契約締結についてのお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、がん治療用抗体 LIV-2008b（以下、本抗体といたします）に関する ADC Therapeutics 社（本社、イパリンジェス、スイス、以下、ADCT 社といたします）と Antibody Drug Conjugate（以下、ADC といたします）領域での全世界における独占的な開発・販売権に関するオプションライセンス契約の締結を決議いたしましたので、お知らせいたします。

本オプションライセンス契約は、当社が ADCT 社に対して本抗体の評価を目的として特許の実施を許諾するものです。同社とは既にごん治療用抗体 LIV-1205 でのオプションライセンス契約を締結しておりますが、本契約では新たに LIV-2008b においてもオプションライセンス契約を締結し、本抗体の評価を実施することとなります。なお、本契約の締結時に ADCT 社より契約一時金を受け取るとともに、ADCT 社がオプション権を行使しライセンス契約を締結した場合には、ライセンス契約一時金を受け取ります。開発の進捗に応じたマイルストーンペイメントも含め、総額で約 110 億円を受け取ります。また、製品上市後には製品の売上高に応じたロイヤルティも受け取ります。

なお、本契約締結後も本抗体の ADC 領域以外での権利は当社が保持し、開発及び導出活動を継続いたします。

<今後の見通し>

本契約締結及び本契約締結に基づく収益の獲得は、当社の創薬事業における当会計年度及びその後の決算期の業績に寄与するものと考えておりますが、これら契約一時金、マイルストーン支払等の各種の収益金額等の経済条件の詳細については、ADCT 社との守秘義務契約に基づき非開示となっております。なお、契約により受領する契約一時金の計上は、平成 28 年 12 月期において売上高として計上いたします。また、上記に記載した本契約完了後のライセンス契約締結により受領する契約一時金、マイルストーンペイメント及びロイヤルティによる業績への影響については、確定次第お知らせいたします。

< LIV-2008b について >

LIV-2008b は、乳がん、大腸がん、肺がんをはじめとする多くの固形がんの細胞表面に発現している抗原（標的分子）「TROP-2」に結合した後に細胞内に取り込まれるインターナリゼーション活性を有しています。また、抗体単独投与においても、がんの増殖活性を阻害するヒト化モノクローナル抗体です。TROP-2 は正常組織と比較して、上記の複数の固形がんにおいて発現が亢進していることから、がん治療の標的分子として期待されており、当社の研究チームは各種のマウスモデルで本抗体が強力な抗がん作用を有することを見出しております。

なお、LIV-2008b に関する情報、当社のパイプラインの開発状況は当社ウェブサイト、平成 28 年 2 月 12 日付「平成 27 年 12 月期決算短信補足資料」、平成 28 年 3 月 10 日付「第 12 回株主総会招集通知」ならびに「サービス情報」をご覧ください。

当社ホームページ : <http://www.chiome.co.jp/>

<ADC Therapeutics 社について>

ADCT 社は独自の抗体薬物複合体 (ADCs) 技術を用いて、固形がんおよび血液がんを対象としたがん治療薬を開発しています。同社の ADC はがん細胞の表面に特有の抗原に特異的に結合するモノクローナル抗体と、腫瘍細胞内で非常に強い抗がん活性を発揮する化合物 (warhead または payload と呼ばれます) であるピロロベソジアゼピン (PBD) 二量体との結合体で、すでに上市されている他の ADC で使われているメイタンシノイドやオーリスタチンのような微小管重合阻害を作用機序とする warhead とは異なる作用機序を有し、DNA に直接結合することにより、細胞分裂速度の遅い、がん幹細胞への効果も期待されています。ADCT 社は PBD および PBD とモノクローナル抗体をつなぐリンカーに関するスピロジェン社 (現在はアストラゼネカ社の生物製剤の研究開発部門であるメドイミュン社の子会社) の技術の使用権を有しています。

現在 ADCT 社では、メドイミュン社と共同開発を進めているものも含めて、11 の ADC 開発プログラムを進めており、2015 年には ADCT-301 と ADCT-402 の 2 つの ADC について、リンパ腫と白血病を対象に臨床第 1 相試験を開始しております。

ADCT 社はスイスのローザンヌ地方に本社を置き、研究子会社をロンドン、臨床開発チームをニュージャージー、製造チームをサンフランシスコに持っております。

製薬業界や医薬品開発に精通した経営陣が率いる PBD を基盤とする ADC 開発のリーダーです。

なお、ADC Therapeutics 社に関する詳細な情報は、ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.adctherapeutics.com/>

以 上